

ダイヤモンド水和剤技術情報

ベントグラス内コケ類に対する本剤の使用時期と薬量

コケと薬剤散布適期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
コケの発生消長														
ダイヤモンド 水和剤	0.2g/m ²													
	0.3g/m ²													
	0.4g/m ²													
	0.5g/m ²													
	0.6g/m ²													

※散布は、原則としてスプレーヤー等の均一散布できるものをご使用ください。

※本剤は連用散布のご使用はお控えください。
冬場の1回散布で十分な効果を発揮します。

西洋芝の場合、上表の
網掛け部分の範囲でお
使い下さい。



ダイヤモンド水和剤技術情報

主な適用雑草一覧

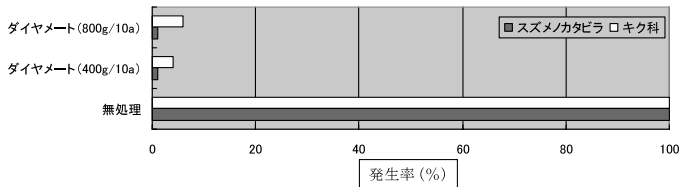
スズメノカタビラ、メヒシバ、オヒシバ、イヌビエ、カヤツリグサ科、ハキダメギク、イヌホオズキ、ハルタデ、サナエタデ、エノキグサ、アカザ、トウダイグサ、ナスナ、グンバイナスナ、オオバコ、スベリヒユ、イヌビユ、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、その他一年生雑草

ダイヤモンド水和剤の作用性

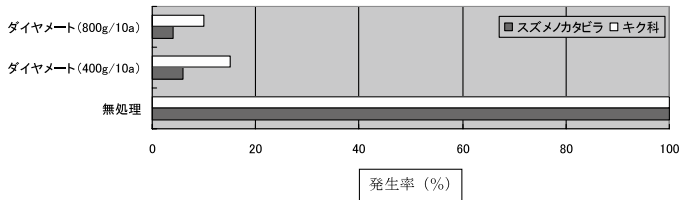
- 光要求型除草剤で、光のある条件下のみで効果が発現します。
- 接触型除草剤なので、土壌表層に形成された薬剤処理層を雑草の幼芽部が通過する際、薬剤に接触し褐変枯死します。
- 土壌中の移動性がきわめて小さく、土壌表層に薬剤処理層を作りやすい。
- 根部からの吸収は小さく、植物体はほとんど影響を受けません。

適用性試験

処理 60 日後の調査結果



処理 150 日後の調査結果



試験場所：西日本グリーン研究所
 対象雑草：スズメノカタビラ、(キク科)オオアレチノギク、ヒメムカシヨモギ、チチコグサ、オニノゲシ)
 供試芝草：コウライシバ(密張造成後、ゴルフ場のグリーンと同様の管理状態)造成2年後の芝。
 土壌条件：砂壤土で腐植をやや含む。pH 4.7。
 処理日：昭和50年10月22日(雑草発生前)
 調査日：昭和50年12月22日(60日後)
 昭和51年3月20日(150日後)